

最新設備と専門性。 埼玉・寄居工場

高品質 紙製フラットファイルの 生産拠点。

紙製フラットファイルの生産体制を強化し、グローバルベースでの最適な生産体制を構築するため、2016年2月、埼玉県寄居町(よりいまち)に新たに「寄居工場」を開設しました。これにより、紙製フラットファイルの生産は、ベトナム・マンチャク工場と埼玉・寄居工場の「二極体制」となり、事業基盤のさらなる強化を図っていきます。



生産開始以降、ずっと続けてきた変化と進化。



1995年に埼玉・所沢工場で紙製フラットファイルの生産を開始。以降、部品点数の少ない製品ながら、金属製とじ具から保持力・操作性にすぐれた100%再生樹脂を利用したとじ具への変更や廃棄時の環境に配慮したノンステッチ製法[※]の採用といった改良を重ね、製品仕様面を進化させてきました。また2015年9月公益財団法人日本デザイン振興会より「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」を受賞。市場で多くのお客様から高い評価を得ています。

[※]表紙のとじしろ部の金属ステッチをなくし、のりによる接着方式。針の取り外しも不要で背表紙の浮きもなくすっきりと収納できます。

デザイン性・機能性にすぐれた 紙製フラットファイル

寄居工場では紙製フラットファイルのプリントサービスも実施しています。お手頃価格、キレイで手間なく、簡単に印刷できます。30冊から印刷可能で、最短3日でお届けできます。

[※]販売店様へのお届けになります。



すべては、お客様のニーズに応えるために。



最新設備と自動ライン化によって、紙製フラットファイルのさらなる品質の向上と、受注から納品までのリードタイムの短縮に成功。これにより、さらにお客様のニーズに沿った、きめの細かいサービスの提供が可能になりました。今回の生産体制の再編では、ベトナム工場、寄居工場、それぞれの特性を活かした、生産能力の増強と効率化を図ります。

豊富なバリエーションで市場競争力を強化。

プラスは再生紙や間伐材といった紙仕様での生産だけでなく、カラーやサイズ、異なるとじ厚など多くの使用用途を展開。こういった点からも、多くのお客様から支持を得ることができ、生産当初数パーセントだった市場シェアは40%にまで拡大しました。今後も豊富なバリエーションを生産することで、市場競争力の強化をめざしていきます。

工場概要



■寄居工場 406坪
紙製フラットファイルを生産。
従業員数 30名(2023年8月時点)